



かまざこいけ

鎌迫池水利保全の会（岡山県井原市）

いばらし

- 本地域は、人口減少等により、農業者が急速に減少。ため池の管理に係る作業負担が増大し、管理の粗放化が進み、将来的に決壊等の危険性もあった。
- 本制度により、非農業者を含む活動組織を設立し、ため池の定期的な保全管理を実施するとともに、台風期前の水位調整を行い、ため池の貯留効果を高めている。
- 活動を通じて防災・減災に関する地域住民の意識が向上。ため池の管理体制の強化により、作業負担が軽減するとともに、豪雨時の農地災害等の発生を防止。

【地区概要】

- ・取組面積 11ha（田10ha、畑1ha）
 - ・資源量 開水路3.5km、農道1.4km
ため池1箇所
 - ・主な構成員
農業者、自治会、子供会等 等
 - ・交付金 約0.6百万円（H29）
- 〔 農地維持支払
資源向上支払（共同） 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、水稻を主体とする地域で、人口減少や高齢化により、農業者が急速に減少している。
- 水源であるため池は、管理をする組合員が減少し、一人当たりの作業負担が大きくなっていた。
- 堤体には、雑草・雑木が茂り、豪雨によって雑木の倒壊も発生し、堤体に亀裂等が生じて決壊する危険性もあった。
- このため、平成25年度から、交付金を活用した防災・減災の取組を開始した。



雑草や雑木が茂った堤体

取組内容

- 定期的にため池周辺の草刈や泥上げを行うとともに、ため池の点検や機能診断を実施し、必要に応じて補修等も行っている。
- 台風期前に、ため池の水位を下げることで、ため池の貯留効果を高め、洪水や二次災害等の発生を未然に防止している。
- 非農業者に対し、地元説明会でため池の現状を伝えるとともに、豪雨等によるため池決壊の危険性について、啓発・普及の活動を行った。



水位調整の様子

機能診断の様子



取組の効果

- 活動を通じて、地域全体で農業用施設を守り、防災・減災に取り組もうという意識が向上。
- 従前は約10名の組合員でため池等の管理を担っていたが、非農業者を含む約30名に増員し、一人当たりの作業負担が軽減するとともに、きめ細やかな管理が可能となった。
- 平成27年度に時間雨量30mmを超える降雨を記録したが、農地災害等の発生はなかった。



鎌迫池